しょうかんぜおんぼさつりつぞう

銅造聖観世音菩薩立像

市指定有形文化財
（彫　刻）

婦中町板倉 61
玉泉寺所有

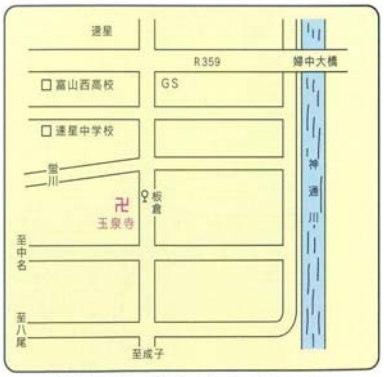
銅造聖観世音菩薩立像

側　面

玉泉寺に安置されている聖観世音菩薩立像は、金銅仏で高さ21.8 cm、右手の指が一部破損しています。この仏像は、7 世紀の後半に朝鮮半島（百済（くだら））で製作されたものと伝えられ、日本でも数少ない渡来仏の一つです。

玉泉寺は、もと能登総持寺（そうじじ）の塔頭（たっちゅう）であったらしく、前田利長の夫人玉泉院の法号をそのまま寺号としたものといわれています。この仏像も、能登にあったものが寺といっしょに移ったものといわれています。

玉　泉　寺



板倉下車（地鉄バス）徒歩 2 分